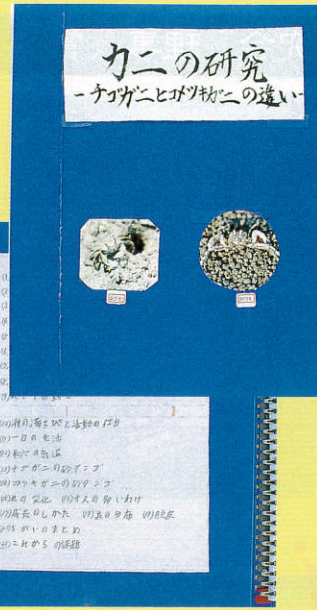


文部大臣奨励賞



理 科 部 門

継続して頑張ったこと
と、チゴガニとコムツ
キガニの違いがわかる
ように工夫した。

「カニの研究 —チゴガニとコムツキガニの違い—」

千葉県・市原市立国分寺台中学校 三年 柳池 英理

干潟にすむチゴガニとコムツキガニについて、約六年間根気強く調べた立派な研究です。

からだの特徴にはじまり、巣穴の形・砂ダンゴ・生活の様子など、色々な角度から細かく観察されています。それらの細かな観察を通して、両方のカニの違いや共通点をまとめていくだけでなく、特徴や生態についての本質的な発見がたくさんありました。また、巣穴の観察では、石膏を流しこんで穴の形をとるなど、科学的な方法が用いられているところも、目をひきます。

一つ一つの観察の結果から生じた新たな疑問を、次の観察のテーマにしてさらに深く追究しており、調べていくうちに、カニへの愛情がだんだんと増していく様子が感じとれる、たいへんすばらしい研究です。



子どもの文化・教育研究所 理事長賞

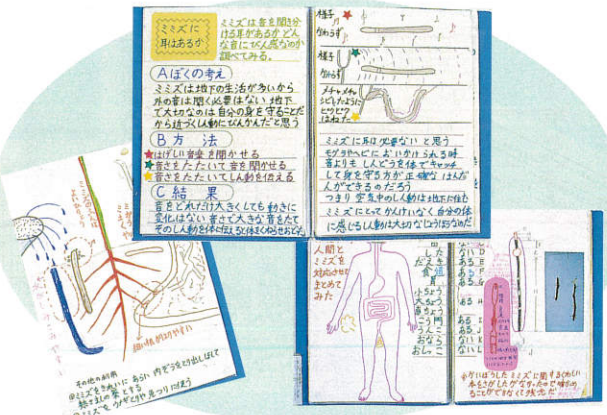
「なぞなぞだらけのミミズ」

岐阜県・御嵩町立上之郷小学校 四年 可児 裕基

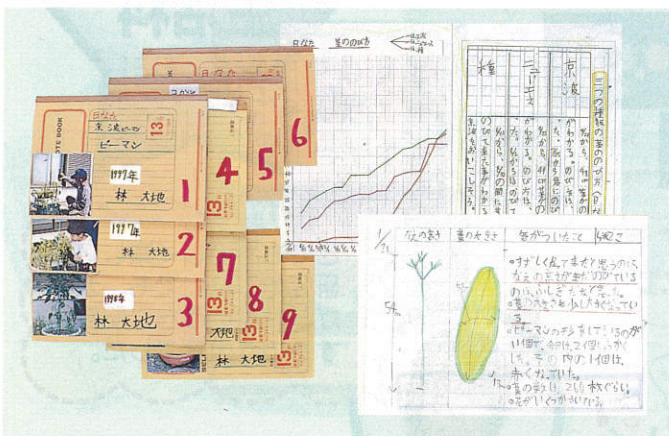
ミミズというテーマをはじめとして実験方法もまた実にユニークで、たいへんおもしろい研究です。

ミミズのからだの各部分の特徴を調べるために、色々な刺激を与えてその反応をよく観察しています。そしてその反応について、自分の（人間の）体と比較するなど、裕基さんなりの考察をしています。

次から次へと様々な問いかけと興味がわいてくる様子が伝わってきます。読んでいく人にも、どうなるのだらうという興味をひきおこしてくれる、たいへん楽しい研究です。



中央出版株式会社 社長賞



「ピーマンの育ち方」

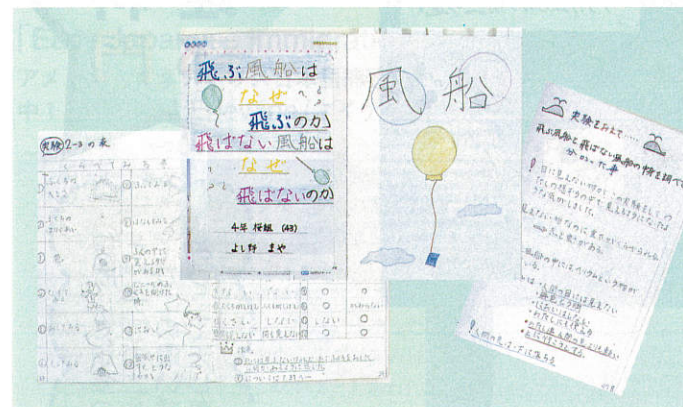
愛知県・愛知教育大学附属岡崎小学校
四年 林 大地

種から育てたピーマン・苗から育てた京波ピーマンとニューエースピーマンの成長を、三年間観察記録し続け、その成果がノート九冊にわたりまとめられています。

三種のピーマンの日なたと日かげでの成育の様子を粘り強く観察し、記録してあります。成育にかけた努力と観察記録の量にはたいへん感心させられます。

ぜひ、今後も観察を継続し、その中から新しい発見をして欲しいと思います。

日本初等理科教育研究会 理事長賞



「風船」

東京都・白百合学園小学校 四年 吉野 摩耶

気体の比重の差という、やや難しいテーマを、自分なりの推論と実験で追究した力作です。

「飛ぶ風船と飛ばない風船があるのはなぜ」という疑問を出発点とし、丁寧に実験と推論を進展させています。気体という目に見えない世界をよくここまで追究したと感心しました。

また、実験の結果がスケッチで表されているので、写真ではとらえきれない大切な点が詳しく表現されています。

総評

今年は、たくさんの実験や観察や調査の記録がまとめられた研究が多く、長期にわたり研究された様子がたいへんよく伝わってきました。

ただ、膨大な量の結果が記録されているのはすばらしいのですが、その結果からの新しい発見や、疑問、さらなる追究に発展されていない研究も多く、その点が非常に残念でした。

来年は、結果から導かれる発見や疑問まで追究された研究を期待しています。

入賞

「音のヒミツみつけたよ」
岐阜県・岐阜市立加納小学校
三年 辻 純奈

「光電池のひみつ」
岐阜県・岐阜市立加納小学校
四年 村瀬 直樹

「ぼくと淡水魚6年間の思い出」
東京都・星美学園小学校
五年 橋本 和明

「火力発電への道」
岐阜県・岐阜市立加納小学校
五年 酒井 孝明

全国小学校理科研究協議会 会長賞

「あさがおのかんさつ パート5 テーマ『つる』」

岐阜県・瑞浪市立明世小学校
五年 成瀬 沙也加

一年生から続けてきたアサガオの観察を、五年目にあたる今年は『つる』の成長と動きというテーマで、実験・観察した研究です。

特につるの動きについては、つるの先に重さの違うおもりをつけたり、まきつく支柱の太さや角度を色々変えたりするなど、おもしろい工夫がなされています。

成長の様子を様々な観点から比較していること、観察と記録が正確であること、そしてそれらを根拠として丁寧に考察していることなどが高く評価されました。



全国中学校理科教育研究会 会長賞

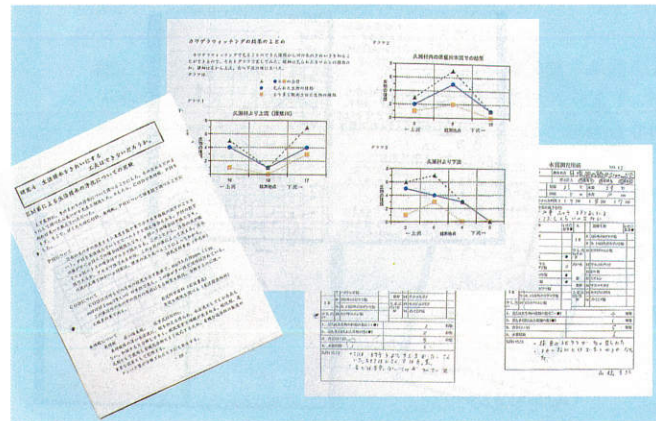
「カワゲラウォッチング奮闘記 ～久瀬の川は本当にきれいか～」

岐阜県・久瀬村立久瀬中学校
二年 増元岳人 高橋衡平 一年 高橋貴紀

水生昆虫の生息状況を指標に、身近な河川の汚染度を調査した研究です。また水質汚染源の一つである生活廃水が、E.M菌（有効微生物群）を利用してどこまできれいになるかも試みています。

自分たちの調査をもとに、三人それぞれが調査対象に対する考えをもち、価値観を培っていった過程がよく表れています。

今後、水質汚染度の調査において、水生昆虫を調べることの重要性を再認識させられました。



自由研究のワンポイントアドバイス

●テーマ選び 今年はどうな研究をするか迷ったとき、以前の自由研究を思い出してみてください。その時、やり残したことがあったと思います。それをテーマにすると、より深く追究されたすばらしい研究になると思います。

●研究方法 できるだけ早めの実験・観察は始めましょう。そして、新しい発見や疑問が出てきたら、とことん追究してみましよう。すばらしい自由研究レポートには、その積み重ねの跡がよく表われています。

第16回全国小・中学生作品コンクール 学校賞 受賞校

優秀学校賞
愛知県
愛知教育大学附属岡崎小学校

学校奨励賞
岐阜県
美濃加茂市立 古井小学校